



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1684回例会 2023年（令和5年）11月17日（金）

世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長



忘己利他（もうこりた）

これは天台宗の宗祖伝教大師最澄さんの残された言葉で直訳すると「己を忘れて他を利する事は、慈悲の極みなり」とこんな感じになります。現在の大勧進の管主は「栢木寛照（かやきかんしょう）」さんですが、前の管主さんの「瀧口宥誠（たきぐちゆうじょう）」さん、昨年御開帳中の四月十三日に遷化された方の、著書に書かれた一説です。

私達はどうしても自分中心で、物事を判断してしまいがちです。もっと欲しい、もっとこうして欲しいと、周りに色々望むことが、多くなりがちになりますが、己のことは後回しにして、周りの方に、喜んでもらうことが「忘己利他」になります。

しかし自分を律する心と謙虚さが求められるだけに、実践することは大変です・自分の事を差し置いて、他人の幸福為に、働くことは、そういう心を持たなければならない。

お互い皆「忘己利他」の精神で相手のためを思って、日々暮らしていたら、争いごとも起きず、穏やかな人生を送れるのではないかと思います。

「忘己利他」の精神は素晴らしいものだと頭では理解していますが、世の中の動きを見ると、真逆の「忘他利己」つまり、他人のことは忘れ、自分の利益のみ追求してしまう傾向が、強いような気がします。

例えば、お年寄りがゴツゴツと貯めた、老後の資金を、あの手この手でだまして巻き上げる詐欺集団は、その最たるものと言えるでしょう。

どんな時でも「忘己利他」の精神を忘れないように、心掛けましょう。

幹事報告

宮原友昭副幹事



* 第5回クラブ協議会報告

- ・11月のロータリーレートは、1 \$ = 149円です。
- ・前回の例会からお久しぶりとなりましたが、10/22「古着 de ワクチン」のイベント参加、28日の森林（もり）例会、11/4秋の親睦ゴルフコンペ、11/10指名委員会開催と様々な行事が終了しました。また、先日ご案内しましたが、12/8は会員のみでの年末忘年会となります。大勢の方のご参加お待ちしております。
- ・先週11/11～12地区大会がございました。当クラブからは、6名ご参加いただきました。今日、ゲストの邱さん、また長野女子高等学校インターアクトクラブの皆さんにも青少年アワーご参加いただきました。大会の様子は会報にも掲載されております。ご参加いただきました皆様大変お疲れ様でした。
- ・次週24日は、休会となります。次回12月1日は年次総会となります。次年度理事・役員を選任と予算の執行状況の報告がございました。次年度役員・理事候補の方はご出席宜しくお願い致します。

12/1 本日のプログラム

年次総会

会員卓話 浦田理奈さん・新藤 圭さん
「インフレから資産を守る国際分散投資」

11月のお祝い事 おめでとうございます

- <会員誕生記念> 小山浩太郎さん
- <夫人誕生記念> 坂本典子さん
- <結婚記念会員> 伊東義次さん 中野欣哉さん
若麻績信昭さん

出席・ニコBOX報告 飯田弘己例会運営委員

11/17 (会員28名) 出席19名 出席率67.86%



- ・若麻績信昭さん☆大谷選手2度目の満票 MVP おめでとうございます。
- ・村田秀雄さん☆久しぶりの例会楽しくやりましょう。
- ・浦田理奈さん☆2度目の長野

での冬を迎えます。寒さを楽しんで過ごしたいと思います。

・宮原友昭さん・飯田弘己さん☆だいぶご無沙汰しておりました。寒くなってきました。体調を崩さずにお過ごしください。

・清水光朗さん☆寒くなってきました。来週のえびす講、ドローンショーはディズニー40周年の企画でやるそうですね。天気が良いといいですね。

・合計 12,000円 ・スヌーピー 4,551円
 ・累計 224,478円

奨学金贈呈



30年在籍者表彰



例会案内

- 12月8日 年末忘年会
於：シャトレゼホテル長野
- 12月15日 ゲスト卓話 オンユー シュエン
米山奨学生 (戸倉上山田RC)
- 12月22日 ゲスト卓話 長野女子高等学校
インターアクトクラブ
- 12月29日 休会

ゲスト卓話 邱文萃米山奨学生

「私の高校時代の部活動」

ちょうど先週地区大会に参加させていただき、IACの生徒さん達を見て、自分も高校時代にステージに立ち、部活動の紹介などをしていた記憶を思い出し、懐かしいと感じました。今回の卓話のテーマも台湾のIACに所属していた時の活動を紹介したいと思います。

私は、台湾の新北市三重高校で三年間IACのメンバーとして活動していました。実は、高校に入学してからずっと入りたいと思っていた部活は、ダンスでした。K-POPダンスをやりたいのですが、将来国立大学に進学するには、高校時代に何をしたのか「ガクチャ(学生時代に力を入れたことを略した就活用語)」が非常に重要でボランティアなど有意義なことをしないと国立大学には入れない。もちろん成績やクラスでの役割なども大切で、家族とも相談しあまり興味が無かったのですがIACに入りました。入部の際、面接もあり、人生初の面接を受けました。何を話してよいのか分からないまま受けたのですが、今となっては就活の面接にとっても役立ちました。

部活動は、2週間に1回、1か月4時間しかありません。少ない時間の中でスケジュールをたて、活動しました。台湾の高校生は、日本ほど部活動盛んではなく、ほとんどの生徒が帰宅部で学校が終わると塾へ通います。私も高校卒業まで部活がある日以外は塾へ行っていました。私のIACではアメリカと日本のIACとの国際交流、老人ホームや山奥の学校との交流があり、月に1回はイベントがありました。初めの1年は、先輩方に付いていき活動しました。2年生になると1年生を迎えるため他の5校の学校総勢約150人位と合同でオリエンテーションを毎年必ず開催しています。これは2年生が担当し、1日限定で思い出と友達作りのためのイベントです。また、毎年少なくとも2回以上山奥の小学校に行き、古い本を寄付したり、英語の勉強や夏休みの宿題を一緒に解いたりをしました。

日本との交流が私のクラブにとって一番大きいイベントになりまして、群馬県と新潟県のIACと交流しますが、最初に日本のIACが私たちの学校を訪問し、一泊二日のホームステイをし、私の家にも泊まり観光地など一緒に行ったりしました。次の年には、私達が群馬県か新潟県に訪問し、日本のメンバーの家にホームステイさせてもらいました。観光地や学校の見学をしました。その時の日本人の友達とは、今でも連絡をとったりしています。私の日本語が上達したきっかけだったと思います。1年間の最後イベントにはRYRAがあります。毎年私の学校のメンバーはスタッフとして準備をしますが、このイベントの準備が本当に大変で学生主体で行います。その後引退式をし、引継ぎをします。

今考えると当時IACに入らなければ、日本で生活していなかったと思います。IACでの経験が日本で生活しようと思ったきっかけです。それからたくさんの日本の友達を作り、日本語を勉強し、3年生の時に日本に行くことを決意しました。これはIACのお陰だと思っています。今でも勇気を出して、申し込んだ私に「よく頑張った。」と言いたいです。